

平成29年度

# 防災気象講演会

## 局地化、集中化、激甚化する 大雨から身を守る



**日時** 平成29年11月13日(月)13時30分～16時 (開場13時)

**会場** 福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館  
(福島市早稲町1番1号)

**演題・講師**

入場無料  
予約不要

### 講演Ⅰ「強雨化とその将来予測」

福島大学共生システム理工学類 特任教授 **渡邊 明** 氏

### 講演Ⅱ「大雨災害から身を守るための防災気象情報」

福島地方気象台 台長 **鈴木 和明** 氏

### 講演Ⅲ「私たちは、いつ避難を始めればよいのか？」

福島県危機管理部災害対策課 防災専門監 **渡邊 勲** 氏

司会:FMポコ **國分久美恵** 氏



### 会場案内図



※駐車場はございませんので、ご来場の際は  
公共交通機関をご利用ください。  
(福島駅東口より徒歩3分)



お問い合わせ：  
**福島地方気象台**  
TEL 024-534-0321  
9時～17時(平日)

主催：福島地方気象台

共催：福島県、福島市

後援：国土交通省福島河川国道事務所、日本赤十字社福島県支部、日本気象予報士会東北支部、  
日本防災士会福島県支部、福島コミュニティ放送(株) FMポコ

## 講師の紹介



福島大学共生システム理工学類 特任教授

### 渡 邊 明 (わたなべ あきら)

1948年	栃木県大田原市生まれ	1967年 4月	気象庁採用(運輸技官)
1978年 4月	福島大学採用(助手)	1979年 4月	福島大学講師
1983年 10月	福島大学助教授	1996年 4月	福島大学教授
2010年 4月	福島大学理事・副学長	2012年 4月	福島大学教授
2014年 4月	福島大学特任教授。現在に至る		

#### ●演題「強雨化とその将来予測」

近年発生した福島県内の豪雨災害の解析を中心に、強雨発生のメカニズムと強雨発生の将来予測について紹介します。



福島地方気象台 台長

### 鈴木 和 明 (すずき かずあき)

1957年	青森県八戸市生まれ	1980年	稚内地方気象台
1976年	気象庁入庁(気象大学校)		
2008年	仙台管区気象台技術部予報課長		
2010年	気象大学校准教授	2012年	宮古島地方気象台長
2015年	福島地方気象台長		

#### ●演題「大雨災害から身を守るための防災気象情報」

近年、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化しています。本講演では、相次いで発生する集中豪雨や台風による災害を振り返るとともに、大雨警報・洪水警報の危険度分布など、気象災害から身を守るための防災気象情報の利活用について紹介します。



福島県危機管理部災害対策課 防災専門監

### 渡 邊 勲 (わたなべ いさお)

1960年	福島県福島市生まれ		
1979年	陸上自衛隊入隊。化学学校研究部装備研究員、第6化学防護隊長、化学学校研究部教育訓練研究科長、化学学校教育部運用教育科長等として勤務。		
	2015年 4月退職		
2015年 4月	から 福島県危機管理部災害対策課 防災専門監		

#### ●演題「私たちは、いつ避難を始めればよいのか？」

大雨が降り水害が発生しそうな時、私たちは何時何処へ避難すれば良いのでしょうか？過去に水害が発生した地域の方々の行動を確認し、私達がどのように考え、行動すべきかを問いかけます。身近な地域や家族を思いながら、話を聴き一緒に考えてください。